

平成 28 年 7 月 4 日

## 滋賀県がん診療連携協議会

### 平成 28 年度 第 1 回 がん登録推進部会 議事概要

日 時： 平成 28 年（2016 年）7 月 4 日（月） 16：00～17：15

場 所： 滋賀県立成人病センター 東館講堂

出席者： 稲富理、中川聖子（滋賀医科大学医学部附属病院）

廣瀬哲朗、森明子（大津赤十字病院）

沖野孝、柏本弘美（公立甲賀病院）

寺村康史、志井千明（彦根市立病院）

平良薫、大橋依子（市立長浜病院）

大橋信也（高島市民病院）

寺田貴子（大津市民病院）

伊藤良治、鯉江淳美（草津総合病院）

福森亮介（済生会滋賀県病院）

土屋邦之、大西真（近江八幡市立総合医療センター）

楠井隆、吉田純（長浜赤十字病院）

太田裕之、太田悦子（東近江総合医療センター）

水田和彦、田中一史、嶋田宏之（滋賀県立成人病センター）

八木政廣（滋賀県がん患者団体連絡協議会）

宮下久美（滋賀県健康医療福祉部健康医療課）

欠席者： 木原明生（大津市民病院）

片山政伸（済生会滋賀県病院）

鈴木聡（高島市民病院）

オブザーバー：

森山都子（大津市民病院）

米澤寿裕（滋賀県立成人病センター）

（敬称略）

#### 【議題等】

##### 1. 部会長の挨拶

##### 2. 新委員紹介【資料①】

##### 3. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会報告【資料②】

- ◆ 本年 1 月より、全国がん登録の開始等により、国立がん研究センターがん対策情報センターの組織が変更された。
- ◆ 院内がん登録 2008 年症例の施設別生存率については、事前に参加施設の承諾を確認した上で、コメントを付与して公表することになった。
- ◆ がん登録部会 QI 研究参加の募集案内があった。QI 研究の実施指針は、部会後に

研究参加施設に提示された。

#### 4. 「院内がん登録の実施に係る指針」(官報)の第一の三「がん登録情報等を適切に公開」について【資料③】

- がん登録情報の公開については、本部会で従来より検討を重ね慎重に扱ってきたが、指針に「公開」が明示され、患者会等からの要望も強いことから、積極的に公開に取り組むこととする。しかし、「適切な公開」のため、本部会で公開情報の質や方法について十分な検討を行なう。
- がん登録情報を年報やホームページに掲載している施設もあるが、どの施設も情報活用は充分ではない。
- 公開＝ホームページ掲載というのではなく、まずは院内や関係者が参加する研修会等ディスカッションできるところで公表し、がん登録に関する理解を深めてもらうことが必要である。
- 成人病センターの10月13日(木)の「がん診療セミナー」【資料④】は、県医師会からの要望もあり「がん登録」をテーマに開催する予定である。本部会からもこのセミナーに参加いただき、活用状況についての発表も願います。  
(彦根市立病院 寺村副院長、長浜赤十字病院 楠井副院長)
- プレセミナーとしてがん登録実務者による院内がん登録情報活用事例の報告会を開催する。

#### 5. 平成27年度事業計画について【資料⑤】

##### ① 部会

- 第1回 平成28年7月4日(月)16時00分～
- 第2回 平成28年9月21日(水)16時00分～
- 第3回 平成29年2月6日(月)16時00分～

##### ② 院内がん登録実務研修会(年5回)

- 今年度から、実務研修会と相談会とを統合して「院内がん登録実務研修会」とする。
- 今年度は、がん登録情報の活用をテーマにがん統計資料作成およびプレゼン演習と、院内がん登録初級・中級研修のための勉強会を計5回予定する。
- 対象は「がん診療連携拠点病院等の院内がん登録全国集計」にデータを提出する病院のみとする。(他病院は、全国がん登録実務研修会へ)
- 開催予定は、本部会后、実務者にて詳細を決定する。

※ 部会后、下表のとおり決定した。

回	日	時間	開催場所	テーマ
第1回	8/3	14:00～17:00	市立長浜病院	初級・中級研修のための勉強会
第2回	8/9	14:00～17:00	滋賀医科大学附属病院	初級・中級研修のための勉強会
第3回	8/24	14:00～17:00	彦根市立病院	がん統計資料作成およびプレゼンの演習①
第4回	9/8	14:00～17:00	成人病センター	がん統計資料作成およびプレゼンの演習②
第5回	3/10	14:00～17:00	成人病センター	がん統計資料作成およびプレゼンの演習③

### ③ 2015年全国集計提出前チェックおよび提出後収集

- ・ 2015年全国集計提出前データは7月末までに収集し、8月中旬までに相互チェックを実施する。チェック結果のまとめは、第2回部会終了後に実務者で確認する。

## 6. 収集データの利用について【資料⑥】

- ◆ 収集データは毎年、各施設にフィードバックしているが、その利用方法について明確なルールを作成していないが、院外に公表する場合には、他施設名称は公開しないこととする。滋賀県の拠点病院支援病院合計という形での利用は問題ない。
- ◆ 部会として、収集データを取り纏めて公表することについては、今後検討する。
- ◆ 収集データをまとめたものを滋賀県がん診療連携部会に報告する。
- ◆ このようなデータは、がん診療の均てん化を誘導するものとして、県のがん対策を検討する委員会等に報告されるべきであるが、そのルートとしては、まず滋賀県がん診療連携部会に報告することである。
- ◆ 収集データの分析に関しては、滋賀医大の公衆衛生部門に協力を仰ぐ必要がある。
- ◆ 各施設でのデータ活用事例は、部会事務局に報告する。

## 7. 今年度のPDCAについて

- ◆ 今年度のテーマは「がん登録情報の活用」、指標は「各病院での院内がん登録情報活用の取組み事例数」とする。

## 8. 院内がん登録の新・標準登録様式への対応について

- ◆ 院内がん登録標準登録様式がまだ正式には公開されていないが、院内がん登録システムは改修する必要がある。
- ◆ 新・標準登録様式については、国立がん研究センターの初級・中級研修および認定者研修を受講し、十分に理解する必要がある。院内がん登録実務研修会でも情報交換する。

## 9. 2015年診断例の地域がん登録への届出について

- ◆ 院内がん登録全国集計へのデータ提出後に、電子データ（CSV ファイル）で届出をお願いする。

以上